

医科学研究資源としての カニクイザル

霊長類医科学研究センター 30 年の集積

吉田高志／藤本浩二 編

B5 版 280 頁 本体価格 6,000 円 ISBN:4-431-71210-0

本書はサル類の代表的な実験動物であるカニクイザルについて解説した初の書籍である。国内最大の繁殖施設である霊長類医科学研究センターがその30年間にわたって蓄積した数々のデータを紹介する。繁殖、成長、疾病、飼育、管理、感染症対策など、実験動物としてサル類を扱う際のノウハウの全てが実例をあげて詳細に解説されている。創薬研究など、サル類を用いる実験を行う研究者、実験動物技術者、実験動物学を学ぶ獣医学系、畜産系の研究者に必須の1冊。

【目次】

第1章 序論

(カニクイザル／世界の霊長類センターとTPRC)

第2章 飼育施設と動物管理

(飼育施設／飼料／健康観察／定期健康検査／血清銀行)

第3章 検疫

(霊長類検疫の必要性和経緯／施設／検疫の実際)

第4章 繁殖

(月経周期／交配／妊娠診断／妊娠管理／離乳／人工保育／TPRCのカニクイザルの保育行動／カニクイザルの母子免疫-抗体移行の特性-)

第5章 成長と老化

(育成飼育／体重成長／身体成長／血液・血清生化学マーカーの成長変化／初潮と閉経／寿命)

第6章 獣医学的管理

(総論／各論-臨床症状から見たチェックポイント)

第7章 コロニーのモニタリング

(微生物学的モニタリング／遺伝学的モニタリング／血液・血清生化学的モニタリング)

第8章 データ管理

(システムの概要／システムの特徴／今後の課題／個体識別)

第9章 疾病

(感染症／骨格・筋系／消化器系／呼吸器系／血液・循環器系／泌尿器系／生殖器系／代謝・内分泌系／脳・神経系／感覚器系／腫瘍)

第10章 心理・行動研究

(観察法に基づく心理・行動研究／実験的分析法に基づく心理・行動研究／心理・行動実験を実施するにあたっての注意点／心理・行動研究の具体例／指迷路を用いた学習実験の手続き)

第11章 発生工学

(卵および精子の採取および凍結保存／受精卵の作出／受精卵の移植／ES細胞とその利用)

第12章 バイオセーフティ

(はじめに-感染症研究における霊長類の必要性和リスク／人獣共通感染症／バイオセーフティ各論)

第13章 動物倫理

(基本的な考え方／動物倫理に関わる法規／動物倫理規定／教育および監視体制／評価の基準／有効利用と研究成果の取り扱い)

巻末資料 独立行政法人医薬基盤研究所 病原体等安全管理規程

職員等の血清保存の実施に関する細則

